

東広場リニューアル工事のお知らせ

～阪神百貨店前の工事について～

発行 令和2年3月

「東広場リニューアル工事のお知らせ」は、市民の皆様ならびに周辺を通行されている皆様へ工事の内容や進め方をできるだけ分かりやすく、お伝えすることを目的に掲載しています。

今回は、阪神百貨店前で、どのように工事を進めているかという事を中心にご紹介します。

◆阪神百貨店前の工事について

大阪駅前地下道東広場は、国道176号（阪神前交差点）の直下に位置し、地下道の下には地下鉄御堂筋線の線路があり電車が通っています。このため、工事を行うには地上の車や人、地下道利用者の通行と、地下道の下の電車の運行に影響がないように工事を進める必要があります。

阪神百貨店前の地上では車道部分に鉄板を敷き並べ、その下で地下道を作りかえる工事を進めています。車の通行が少なくなった夜間に、車道を囲う範囲を広げて、撤去した地下道のコンクリートや工事で使う材料等を運んでいます。

また、地下道では白いボード（仮囲い）を建てて工事範囲を囲っていますが、さらに内側には地下道の中に雨水等が流れ込まないようにするため、工事範囲を鉄板（止水壁）で囲い、その中で工事を行っています。

現在、仮囲いの中では、古いコンクリートを撤去して新しい床（下床版）や柱を作る工事を行っています。



阪神百貨店前（地上）の状況



阪神百貨店前（地下）の状況



阪急百貨店前（地上）の状況

◆その他の工事内容

阪急百貨店前においても、工事範囲を囲って工事を進めています。地上では歩道部分を車道側へ少し広げて工事を行っています。車道側へ工事範囲を広げていますが、必要な車線は確保できているため、車道部分に車を通すための鉄板を敷き並べる必要がないので、夜間工事が少なく比較的

昼間に工事を進めることができます。

また、地下では阪神百貨店前と同様に、白いボード（仮囲い）を建てて、工事範囲を囲った中で工事を行っています。

これから、阪神百貨店前と阪急百貨店前に続いて、地下鉄御堂筋線梅田駅南改札の西側（下の地下道工事分割図の青色部分）についても、通行を確保しながら工事を進めていく予定です。

仮囲いにより、通れる幅が狭くなっている所や、工事を始める前と通れる所が変わっている所があります。また、地上の車道部分では鉄板を敷き並べていますので、周辺をご通行される際はご注意ください。

工事は、作業による騒音や振動等の環境面にも配慮し、施工方法や時間帯を工夫して工事を進めています。

工事中、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



阪急百貨店前（地下）の状況

地下道工事分割図

